

# ただゆき市政報告 no.34

発行所 伊藤忠之事務所 八王子市中山446 電話042-674-8

熱い心、真の勇気で八王子改革！！

## 決断と実行

八王子市議会議員

いとうただゆき

# 伊藤忠之



## ごあいさつ

皆様には今年も益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、常日頃から私の政治活動にご理解をいただきましてありがとうございます。

さて、9月2日から10月12日まで令和3年八王子市議会第3回定例会が開かれておりました。市議会は、前議会同様新型コロナウイルス感染に配慮しつつ審議をいたしました。

定例会は冒頭に、補正予算等審議が行われ、続いて令和2年度決算等審議へと運ばれました。私は今回、決算等審査委員会総括質疑での質問で、『多子世帯負担軽減』や『入札契約』、『創業支援事業』等について質問し、それぞれ担当部長に答弁をいただきました。簡単にまとめて裏面にございますのでご覧ください。詳細は今後の八王子市議会HP会議録にございますのでそちらのほうでご確認ください。

会議録ページ⇒<https://www.city.hachioji.tokyo.dbsr.jp/index.php/>

緊急事態宣言は解除され、毎日のコロナ陽性者の発表数は少なくなったものの、市民のコロナウイルスへの不安はなくなっておりません、市民が今、何に困っているか、何を必要としているかを考え、しっかりと議会で発言をしてまいりますので変わらぬご指導をお願いします。

八王子市議会議員

伊藤忠之

## 皆様のご意見・ご要望、心よりお待ちしております。



八王子市議会議員

伊藤忠之事務所

〒192-0374

八王子市中山446

Tel:

(042) 674 - 8869

Fax:

(042) 674 - 7558

E-mail:

tadayuki802@gmail.com

Blog:

<https://ameblo.jp/tadayuki802>

### プロフィール 伊藤忠之(50歳)

- ・昭和46年八王子市中山生まれ。
- ・地元中山小・中学校を卒業、私立小松原高等学校卒。
- ・東京コカ・コーラボトリングにてサラリーマン生活を送った後、東花堂(葬儀社)にて経営を学ぶ。
- ・現在、中山在住、母、妻、長女夫婦、次女、孫の7人家族。犬1匹、猫1匹、メダカ3匹、金魚2匹
- ・市議会では：  
八王子市議会4期  
会派 市民クラブ  
常任委員会 総務委員会委員  
市長付属機関 まちづくり公社諮問委員  
組合議会 多摩ニュータウン環境組合議員  
その他 奨学審議会委員
- ・趣味 筋トレ(腹筋は特に苦手)
- ・好きな言葉 「今すぐ行動しなければ、10年経っても何もできない」

# 令和3年第3回定例会 決算等審査特別委員会総括質疑より

## ◎多子世帯負担軽減

【問】伊藤忠之 給食無料化については、本市の出生数や出生率を見た場合、個人的には第2子から始めたほうがよいのではないかと私は感じている。しかしながら令和2年度の決算でありますので、今回は多子世帯への負担軽減について保育園での取り組みをお答えください。

【答】●子ども家庭部長 保育園では、東京都の制度によりまして保育料の多子軽減について小学生以上のきょうだいも含め、生まれた順番で第2子、第3子以降を数えることにより負担軽減の対象拡大を行っております。また、令和2年4月から給食費においても保育料と同様の数え方とすることにより、本市独自に認可保育所に通う全ての世帯の第3子以降の給食費を無償化し、多子世帯の負担軽減を図っております。

【問】伊藤忠之 教育委員会にお聞きします。多子世帯の負担を軽減するためにどのような支援を行っているのかお聞かせください。

【答】●学校教育部長 教育委員会では、小中学生のうち、経済的理由により困難な家庭に対して就学援助制度を運用しております。この制度では、多子世帯などの子どもの数が増えるごとに加算した所得基準に基づいて、それぞれの子どものかかる学用品費や給食費などを支給しております。なお、本市では、中学3年生までは児童手当などの制度により多子世帯への負担軽減を対応しています。

【問】伊藤忠之 子ども家庭部にお聞きします。先ほどの多子世帯の負担軽減について、経済的理由などによる低所得世帯に対して多子世帯への負担軽減を行っておりますか。

【答】●子ども家庭部長 低所得層の世帯につきましては、既に国制度において、子どもの数によらず給食費が免除になっているほか、保育料について、多子軽減により負担軽減を行っております。

【問】伊藤忠之 保育園などに通う子ども、小学校、中学校に通う子どもを育てることを一言で子育てとした場合、多子世帯に対するサービスは同じであったほうがよいと思いますし、分かりやすいと思います。子育て家庭の負担は、子どもが小さい時よりも子どもが年を重ねるたびに増えていくものだったと私の子育ての経験では記憶しています。

そこで、教育委員会の多子世帯負担軽減策をこれまでの経済的理由のよって就学困難な家庭に対しだけでなく、第3子以降も対象にされてはどうかお聞きします。

【答】●学校教育部長 第3子以降への支援につきましては、少子化対策でありますとか保護者負担軽減、そういった多角的な視点からどのような施策が効果的かを検証する必要がありますので、今後検討してまいりたいと考えております。

【問】伊藤忠之 次回は教育長より多子世帯配慮へのよりよい答弁をお聞きしたいと次回の通告をして終わります。

毎週月曜日更新。一般質問等の概要のテーマ増やしました。ぜひご覧になってください。

伊藤忠之オフィシャルHP

tadayuki802

で

検索

